



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2008~2009)

- ・国際協会会長 『Be the Light of Hope』
V.S.Bashir (India インド) 「希望の灯となろう」
- ・アジア地域会長 『Be the Light of Hope』
Rita .Hettiarachchi (Sri Lanka スリランカ)
- ・西日本区理事 『思いやりを持ってワイズライフを!』
佐藤 典子 (熊本ジェーンズ) "Share with a smile"
- ・六甲部 部長 『"悠々として急げ、ワイズライフ"』
山口 政紀 (西宮) 「Festina Lente」
- ・西宮クラブ会長 『参加して、奉仕しよう!』

濱 浩一 "Let's join us in serving others!"

2008年12月 西日本区強調ポイント " EMC - M "

数は力なり。ワイズを学び、2000 推進を理解しガンバリましょう。

阪田 民明 EMC 事業主任 (京都グローバルワイズメンズクラブ)

2008年12月
727号 **60周年**
62期-6号
since 1948.5.17

スポンサークラブ
大阪 クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島 クラブ

クラブ主役員	
会 長	濱 浩一
直前会長	小野 勅紘
副会長(次)	浅野 純一
副 会 長	岩田 健司
書 記	小野 勅紘
書 記	丸山 悦治
会 計	山本 常雄
会 計	藤原 百合子
監 事	小林 光枝
監 事	足立 康幸
担当主事	三島 浩司
六甲部長	山口 政紀
六甲部書記	廣瀬 一雄
六甲部会計	足立 康幸

2008年12月第1例会のご案内

日時: 2008年12月20日(土) 14:30 受付
15:00 ~ 17:30

場所: 新神戸竹友クラブ 078-221-2943
ドライバー: 岩田メン、三島メン

1. 開会点鐘 濱会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読
4. ゲスト紹介 濱会長
5. ゲストスピーチ 『ヨーロッパ(ドイツ)のクリスマス』 日本福音ルーテル神戸教会 松本義宣牧師
6. 食前の感謝
7. 会食・乾杯 一同
8. プレゼント交換(各自持寄り下さい1000円程度)
9. 今月の誕生日のお祝い
10. Y'sニュース 濱会長
11. YMCA 報告 三島主事
12. 閉会点鐘 濱会長

会費: メン4000円、メネット・コメット3000円

今月の聖句

「言(ことば)は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理にみちていた。」
(ヨハネによる福音書1章14節)
佐野信三メン 選

11月 例会出席状況	在籍会員数	20名
第1例会(11.21金)	第2例会(11.7金)	
メ ン 18名	メ ン 8名	
メネット・コメット 1名	メネット 0名	
ゲスト・ビジター5名	ゲスト・ビジター 0名	
合計 24名	合計 8名	
(出席率 90%)		

Happy Birthday To You
お誕生日おめでとうございます

12月の誕生日 25th the jesus christ

【今月の言葉】 『 E M C 』
E x t e n s i o n , M e m b e r s h i p & C o n s e r v a t i o n
E は新クラブを設立すること。MC は新会員増強と意識高揚をはかること **ご覧ください。** URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>

会長メッセージ

濱 浩一 会長

9月の六甲部会、10月の西宮 YMCA 地域カーニバル、そして11月3日のチャリティーランと多くのメン、メネットにご協力頂き感謝です。

11月21日第一例会は久しぶりに西宮 YMCA 保育園で開催され、沢山のゲストとともに新入会員(阪根 新メン)を迎えることができ、とても喜んでます。

また、故堀川吉彦メンの元メネットより多額のご寄付を頂き、大いに感謝するとともに、大切にに使わせて頂きたいと思っています。感謝！

11月第1例会報告

ドライバー 山口政紀メン

佐野信三メン

濱会長の開会点鐘ではじめられた11月第1例会は、



阪根 新(あらた)さんの入会式、中田一夫さん(イエス団事務局長)の「賀川豊彦献身100年」をテーマとしたスピーチ、

六甲部石田広報主査、加茂Yサ・ユース主査のアピールなど、盛りだくさんの内容で充実した例会となりました。阪根 新さんの入会式は、同世代の岩田メンからの紹介に引き続いて、濱会長からクラブの綱領と目的など入会に当たっての約束ごとが厳粛に伝えられ、ご本人から誓約の言葉があり、全員から歓迎の大きな拍手を贈り、新メンバーの誕生となりました。

阪根メン(1941年生まれ)は、中学2年のとき、余島での長期キャンプに参加、大学在学中はキャンプリーダーとして今井先生らの薫陶を受け、就職後は、社員研修で10年間余島を利用、近江岸兄とも親交を深めたなど、YMCAでの多くの出会いを語り、その恵まれた

体験に、かねてから感謝の思いをもっておられ、機会があれば何か役に立ちたい - という思いが、ワイズに入会に繋がった - と経過を話されました。

今回ゲストスピーカーとしてお招きした中田一夫さんは、1988年に神戸YMCAに入職、2002年に京都YMCAに出向、2005年に退職して、社会福祉の仕事に転じ、イエス団に就職し現在は、法人事務局の責任者として活躍されています。

中田さんから、はじめに、賀川豊彦師が、東京の明治学院高等部神学予科を卒業後、1907年に神戸神学校に入学し、1909年に神戸市葺合北本町のスラムに居を移して伝導を開始して100年となり、現在、イエス団やコープこうべなど、賀川豊彦師と縁の深い諸団体が集まり、献身100年の事業計画を進めている状況について話されました。そして、1938年(昭和13年)に撮影された賀川豊彦師の働きを紹介した貴重な記録フィルム(約20分)を上映し、解説を交えて賀川の働きを紹介されました。

今から70年前の映像は、賀川豊彦師が関東大震災(1923年)の救援活動の拠点とした本所に、その後セツルメント事業を興し、震災から15年後の賀川師の50歳の頃の様子をまとめたものでした。フィルムは、自宅(森の家)での礼拝や口述筆記に



よる著作からはじまり、本所消費組合、なかの

信用組合、キリスト教産業青年会、武蔵野農民学校・福音学校、組合病院など貧しい人々や青年への働き、そして、賀川師の働きの原点となった神戸のイエス団の幼稚園、松沢教会を訪ねるシーンを巻末に取り入れまとめられていました。当時の賀川師の働きの全貌を集約した、本当に貴重な映像でした。

中田さんは、賀川師とYMCAとの接点など、豊富な内容の資料を冊子にまとめて用意し、限られた時間で、理解ができるようにと尽力いただきました。

賀川豊彦師のセツルメント事業、農民運動、生活協同組合、労働運動、平和運動などの幅広く意義深い活動の原点は神戸のスラム体験にあり、「救貧から防貧へ」へと諸運動の先頭に立った賀川師は、キリスト教徒としての兄弟愛に燃えた行動力こそ - という信念が、その礎となっていた - という中田さんの熱のこもったスピーチが心に響きました。

来年3月8日には、マーマド・ユヌス氏（ノーベル平和賞受賞者）を招き、阿部志郎氏（横須賀基督教社会館館長）らと交えてのシンポウムの企画など次々と記念事業が行われます。今から楽しみにしています。

行事の例会が続き、8月以来の久しぶりの保育園での室内での例会は、芦屋クラブの柏原さん、上野さんも駆けつけてくださり、総勢24人が集う盛会となりました。

10月第1例会の報告

『第26回西宮YMCA・西宮YMCA 保育園カーニバル』

馬場 一郎メン

10月26日（日）、すがすがしい秋晴れの中・・・、とはいかず、雨が降ったり、やんだりの中、第26回 西宮YMCA・西宮保育園カーニバルが行なわれました。

まず最初にリーダー会、リーダーOB・OG、サポートクラスメンバー・OB・講師、YMCA プログラムのメンバー・講師、保育士の皆さん、保育園の保護者・園児の皆さん、国際関係のスタッフ・リーダーの方々、当日参加の方々、市原先生、西宮YMCA スタッフの皆さん、そして西宮ワイズメン・メネットのみなさん、お疲れ様でした。小雨模様の天気の中、売り上げも好調で、皆さんの楽しい、そしてなつかしい交流の場となったこと、前日からの準備（リーダー会は駅や小学校にくり出し、ピラを配布してくれました。私も駅前でピラをもらい「明日、西宮YMCAでバザーがあります。ぜひ来て下さい」と言われました。「朝から行きますよ。一応実行委員長なんで」と答えておきました。ちょっとさみしい。）、

また実行委員の方には積み重ねてきた話し合い・・・も含め、ありがとうございました、と実行委員長としての挨拶になってしまいましたが、ワイズの皆さん、本当にお疲れ様でした。

何度も言ってますが、じゃがいもの疲れの抜け切らない内に、また今回は相当多かった寄贈品の整理、値つけ、販売までお疲れ様でした。今年のおみの市売り上げは169,000円で、昨年の150,000円を越えました。当日の皆さんの販売力が発揮できて本当によかったです。朝1時間は、本当に多くの方が来場され、大変でしたがなんとか乗り切ることができました。おみの市にはその後も終了まで例年になく、来場者が多かったように思います。



片付けも早々に終わることができ、メン、メネットで大挙して「葉音」にくり出し、打ち上げの会を持ちました。ビールがうまかったこと。次の日の仕事は、足腰痛くてきつかったですが、楽しいカーニバルでした（2～3日後に痛くなる人もいますが）。

次は11月3日のチャリティーランです。またまた優勝目指して、ホテルチケットをゲットし、武藤メンがカーニバルの抽選でたまたま当たったホテルチケットと共に、クリスマスプレゼントにはどうですか？（ねえ、武藤さん）

第11回神戸YMCAチャリティーラン

神戸YMCAで一番大きな行事となっています。ひとりでも多くの障がいを持つ子ども達がYMCAのキャンプに参加できるように、今年もぜひご支援・ご協力ください。

日程：11月3日（祝）

場所：しあわせの村（神戸市北区）

Yサ担当 長井慎吾メン

11月3日は朝から曇りがちで、天気予報は午前中にわか雨でした。8時30分にメンバーが集まり、西宮ク

ラブの定番となったカレー販売の準備です。

テントを建て、コンロやなべを



並べます。今年は500食販売を目標としました。

10時過ぎにはカレーが大鍋で温まり、山本メン、岩田メンが学園Yから炊き立てのご飯を運んでくれました。早速、味見をするメンもいて準備OKとなりました。

今年は、炊飯器を持ち込んでご飯を炊きながらの販売です。最初に運ばれてきたご飯が硬くて売り物にならないトラブルや、連続で炊飯するので炊飯器の調子が悪くなるなどハードルがいくつかありましたが、手慣れた各メン、メネットは柔軟に対応しました。

途中でご飯が足りなくなりそうになると、最初の硬くて食べれないご飯をカレーに入れて「カレーリゾット」を作り販売を繋ぎました。これがなかなか美味しくてリクエストがあるくらいでした。途中で雨がパラパラして気が重くなりましたが、すぐに止まりました。

西宮から出場のグループランのスタート時には陽光が差し込み、気分が盛り上がりました。今年からコースが変わったことで、タイムを読み違え早めのゴールとなり入賞することはできませんでしたが、「来年はこうしよう、ああしよう」とがやがや楽しいランでした。

結果は、デижョガーズ(岩田、藤原、浅野、長井)が21位(54秒早すぎ)、ナイトドリンカーズ(濱、広瀬、馬場、山本)が14位(34秒早すぎ)でした。カレー販売はその他の売店が売り切れとなっても最後まで販売を行い、500食以上の目標を達成しました。売上は11万7千3百円の大台を達成しました。結局、天気にもめぐまれ、会長標語の「参加して、奉仕しよう」

を120%実践した会となりました。御苦労さまでした。

参加は、浅野、足立、岩田、岡田夫妻、小野、堤、長井、馬場、濱夫妻、濱崎夫妻、広瀬夫妻、藤原、三島、武藤、山口夫妻、山本(敬称略)の21名でした。

大阪クラブ80周年記念例会

小野 勅紘メン

日本における全てのワイズの父であり母である大阪クラブ80周年記念例会が菊香おる11月8日、難波のスィスホテルで開催された。西宮クラブは同じ日に余島での近江岸建助メンの記念会(散骨式)があり2手に分かれての参加となった。さすが大阪クラブである。海外からのIBC台北クラブや東日本区も含め280名の盛況である。

6か月前に合同記念例会を開催したばかりの近江八幡クラブ、広島クラブも参加して俄合同例会の交流も。目玉は近江八幡の星、安田メンの自作のWigの公開に一同こんな若き時もあったのかと思いを馳せ、広島クラブとは新幹線の終電まで新大阪で西日本区大会の夢を語り合った。



記念例会は老舗ならではのオーソドックスな開会に始まり、最初に大阪ク

ラブが80年の間に生み出した神戸クラブから芦屋クラブまでの23の子供たちが壇上で紹介された。大阪クラブが長年献身してこられたHHキャンプ(視聴覚障害者支援)への貢献を挟んで、大阪クラブのグラフィティがDVDで流された。ナレーターにはクラブ初の女性会員の三品メンが訥々とワイズベレー着用で語りかけられた。

メインイベントは、中国琵琶奏者の閻杰（えんき）さんの見事な演奏に酔いしれた。まずは有名な夜来香から始まり、ハンガリアン舞曲までをかき鳴らしました。初めて見る楽器に素晴らしい演奏でした。

その後、地域奉仕・環境事業の目玉でもある「レイチェル・カーソンからのメッセージ」を上遠恵子レイチェル・カーソン日本協会理事長からお話を頂いた。古くはDDTはじめ農薬の人体への影響を最初に訴えた方である。この運動は今期六甲部でも余島でビデオが上映されたり、杉村主査から展開されている課題でもある。

懇親会に入り、ワイズの生みの親である奈良伝さんのご長男の奈良信さんが東京から駆けつけられ食前感謝祈禱をされ、西日本区最長老の遊上メンの93歳とは思えない力強い乾杯（フランス式の“SANTE”）。奈良信さんがまだ幼少の頃、大阪クラブの誕生を覚えておられ、思い出話に力を込められた。「こんないいクラブはない」と何度も力説された。遊上メンからはますます人生が楽しいとの頼もしい言葉を頂いた。

宴も酣もあつという間の3時間半であったが、最後に



大阪クラブの愛唱歌「上を向いて歩こうワイズメン」を全員で歌って会場を後にした。

西宮からは濱会長はじめ、廣瀬、山本、小野の各メン4人が参加した。

六甲部長公式訪問

山口 政紀 六甲部長

さんだクラブ訪問

2008年10月31日（金）さんだクラブの「15周年記念例会」が山西福祉記念会館三田分館・会議室とレストラン「悦」で開催され、廣瀬書記、足立会計とともに訪問しました。

また六甲部への呼びかけにされた記念例会でしたが加茂メン（Yサ・ユース主査）、石田メン（広報主査）、阪

本メン（EMC主査）、杉村メン（地域奉仕・環境主査）が参加下さった。

松本文男会長はこの記念例会を100%出席にしようと、31日～11月1日の泊まり会を企画され開会挨拶で達成を宣言されました。

部長挨拶で15年前のさんだクラブチャーターナイトを



思い出しながら、日本ワイズメン運動70年史（396ページ）を引用し関学千刈セミナーハウスでの認証状伝達式の様子を披露しました。松本会長は初代会長で「YMCAとリーダーと一体となって支えあい、育てあってYMCA運動を展開していく」と決意された、会員は29名でスタート、とあります。

今期「悠・結・遊」の松本会長主題は記念例会でのプログラムで多くのメン・メネットに役割分担をされ、旧ワイズも参加され尾上尚司三田YMCA初代主事や元職員、講師、OB・OG、現役リーダーとともに宿泊し交流会がもたれ大いに盛り上がりました。まさに一体・一帯を大切に「ワイズの個性のモザイクがアートに」なり地域での地道な奉仕が実現しています。新しいYMCA会館を与えられワイズの活動が活発に推進され篠山地域へワイズエクステンションも検討されています。

入会式も行われ「フリーメソジスト教会の馬場牧師」が宣誓され、心強いワイズの誕生でした。

記念スピーチには「さんだクラブ誕生ものがたり」と題して今田稔メン（宝塚クラブ）が当時少女会員やリーダーとともに武庫川の源流から河口までの探検プログラムをリーダーとして参加された様子などを懐かしげに語られました。今田メンはさんだクラブ設立のため所属の宝塚クラブからしばらくの間、さんだクラブへ転籍され基礎固めに尽力された

のでした。また阪神震災での被災が大きかった今田宅や神戸 YMCA への大きな支援が

さんだクラブのチャリティー活動の出発になったことでもありましたと。

西宮クラブからは濱会長と小野直前会長の出席でした。交流食事会では「ブルースハーブ演奏」を聞きながら和やかな懇親で感謝の時となりました。旧会員の元摂津三田教会牧師宇野稔メン（岡山クラブ）との再会は懐かしかったです。

神戸西クラブ訪問

2008年11月18日（火）に神戸西クラブの11月例会が（神戸 YMCA）神戸サイコー亭であり、廣瀬書記、足立会計と訪問しました。大塚直前部長や石田広報主査、加茂 Y サ・ユース主査の参加に加えて、この日は西日本区の西連合交流会（京都ウエストクラブ・大阪西クラブ）も兼ねて多くのゲストやメネットの出席もあり大盛会となりました。



冒頭部長の挨拶では40年近い前の神戸西クラブでの出会いが西神戸ブラン

チ（長田センター）時代にあったこと、スタッフ・職員がワイズの方々にずいぶん励まされ、それ以来の関係が続いていることに感謝しました！

神戸西クラブが世代の継承にエネルギーを注がれている中、少人数だけでもすべての事業で無理を重ねるのではなく、ワイズ活動をやや絞り込んで取り組むことでバランスを取るようにしてほしいと要望をお伝えしました。

大田会長の主題は今期「ワイズメンは、社会を照らす灯火になろう」です。小さいけれどピリリとしたクラブ、そして「IBC」の推進を心がけておられます。続けて会長を担われていることや次期部長としてその任務をお勤

められるとき、クラブの課題として会員の増強を、六甲部の課題では新しい仕組みの模索を考えておられるようです。よい会長のリーダーシップのもと「悠々として、急げ”ワイズライフ”でしょうか！

講話は元日本区理事の森田恵三メン（京都ウエスト）の「私のワイズ人生」でした。ご自身の長きにわたるワイズリーダーとしての実践に裏打ちされた経験談と今後の西連合を軸にした楽しいワイズライフの抱負を語られました。今の役員研修システムの生みの親のお一人です。

その後歓談と食事会では若いワイズの方々と昔若かった方々がよい交流の時を持っておられました。石田主査には「横浜国際大会のバッジ」10ヶを披露・カンパに尽力いただき感謝でした！

西日本区第2回役員会報告

山口政紀六甲部長

さる11月15～16日（日）、熊本 阿蘇 YMCA でワイズメンズクラブ国際協会西日本区第2回役員会が開催され廣瀬六甲部書記と参加しました。総勢40名の参加で西宮クラブからは小野次期理事事務局員、六甲部では次期理事・鈴木メン（神戸ポート）、次期書記・上野メン（芦屋）、次期会計・杉本メン（神戸学園都市）、次期事務局長・柏原メン（芦屋）でした。

今回の会場は紅葉も一段と進ん



でいる晩秋の阿蘇 YMCA でした。1952年の開所から長きにわたってキャンプ場として、その後2002年には今のメインキャビンが完成（ウッディな床暖房のきいた素敵な温かい施設）。2007年9月の阿蘇ワイズメンズクラブの誕生。阿蘇外輪山の赤水駅の近くに赤水保育園ともう一つ運営されているとのこ

とでした。熊本 YMCA の活動が広がっていることを思いました。

佐藤理事(熊本 YMCA 常議員会副議長?)からは全部会への出席と温かいキャビネットに対するおもてなしに感謝がありました。各部長活動報告・議案協議と各委員会報告がなされ、二日目には事業主任報告と残された議案協議、諸委員会報告、YMCA 連絡主事報告などがあり時間いっぱい充実した実りある会でした。

六甲部よりの報告では全クラブの活動が充実していることを訪問や部会・行事の取り組みで確認、後半へさらに推進したいと感謝をもって発表いたしました。

議案協議などは理事通信に譲るとして、今期、西日本区は着実な会員増強が報告され、新しい「ワイズ読本」の発刊、これを更なるリーダーシップ開発に活用することと各クラブでの学びに活用、購入依頼がありました。為替の大きな変動への対処、インターネットやメール活用とその落とし穴など課題が多くあります。皆様のお知恵を貸して下さい。

夕食や翌日の朝食は豊富に用意された「海の幸」と「阿蘇の赤肉の焼き肉」で大いにワイズを語りました。役員会の終了後は阿蘇のカルデラを案内頂き、今も生きているマグマを感じてきました。

みなさんと別れて熊本に戻りましたが、お疲れにも拘らず佐藤理事と吉本事務局長(熊本 YMCA 理事長)のお接待を頂き廣瀬書記と私は会話と食事を堪能しました。これも感謝です。翌日は熊本 YMCA を訪問し多彩な活動に取り組んでおられる様子的一端に触れることができました。私は一足早く帰宅、廣瀬メンはその後「熊本城めぐりなど」を楽しまれたようです。

芦屋クラブ第一例会マイケアツク

小野 勅紘メン

今期、次期西日本区理事キャビネットに参画したきっかけで次期西日本区理事事務局長で芦屋クラブの柏原会長から今月の例会参加への応援要請があり、廣瀬メンと久しぶりに芦屋クラブの例会に出席した。

メインスピーカーには警察官 OB の住本さんによる来年には実施予定の「新裁判員制度」のお話は興味深く、新鮮であった。

いつも感じるのは芦屋クラブの例会への姿勢である。YMCA に活動の中心に置く姿勢の西宮クラブとは逆のタイプの所謂京都部型の持ち方で、本来ワイズが誕生したアメリカに由来するホテルを会場とする。

その是非はともかくとして、近年六甲部の中では最も活発なクラブとなっている。それは少なからずウイメンが中心になって頑張っていることがバランス感覚を生んでいるのだと思う。同じ傾向は宝塚クラブにも伺える。男女雇用機会均等法が採用されて久しいが、私は予てより、そろそろ YMCA は男性中心、YWCA は女性中心という旧態依然とした感覚から脱却すべきだと思っている。約 20 数年前にウイメンの参画が認められてきた以上、男女同等に扱うべきだと思う。東西日本区に女性理事が誕生したこともあるし、少なからず EMC にも寄与すると思う。(メネットも会員とすれば倍近くになり 2000 は実現可能)

メネットの立場についても検討の余地があると思っている。ウイメンのメネット(ワイズ憲法では「メネットはメンの夫人」と明記されているために夫であるメネットの活躍の場が制限されているように感じるからである) スポーツクラブなどでは家族会員は夫婦 2 人分より割安で参加出来るようになってるように工夫は可能である。

メンかメネットのいずれかが出席してもメイクアップ出来るなら出席率だって上がるのである。またメネットの参加も活発になると思われる。ただしそれには自由意思による参加であることは言うまでもない。

芦屋クラブからはそのお返しというわけではないが、上野、柏原のお二方が西宮クラブの 11 月例会に参加された。

わいわいフォーラム

廣瀬 一雄メン

わいわいフォーラムの打ち合わせ会が度々催されています。Yの吉田さん、藤井さんたちと山口六甲部長・足立会計・加茂Yサ主査・広瀬書記を始め多くのリーダーの出席で現在下記の段階まで検討、計画が進められています。多くの皆さんの参加で会を盛り上げていきましょう。ちなみにこの会はYMCAとワイズメンズクラブ六甲部の共催です。

2008年度「新春わいわいフォーラム」計画

1. 目的

YMCAに集う仲間が会い、共に語り合う
相互の理解を深める中で、今後のYMCAの有り様を考える
年齢や性別を超えたYMCAの仲間と語り合うことを通して新たな気づき
ワイズメンズクラブを理解し、将来のメンバーへ

2. 日時

2009年1月17日(土)午後1時~6時

3. 場所

神戸YMCA三宮本館(チャペル、教室、1階食堂)

4. 参加対象

YMCA会員、ワイズメン、ボランティアリーダー、学生、職員など

5. 主催 神戸YMCA ワイズメンズクラブ六甲部

6. プログラム

午後1:00~2:00 開会礼拝とオリエンテーション

午後2:00~3:00 デイベート

午後3:00~5:00 分団討議

午後5:00~6:00 全体会(グループ発表など)

7. 2008年度 わいわいフォーラムテーマ

「生きる力」ってどんな力?

~楽しくなければ生きていけない!!、
でも生きる厳しさもあるよねー!!~

子どもたちの成長に欠かせない「生きる力」を育むことが重要だと言われています。しかし、「生きる力」以前に、「生きる喜び」を感じられない子ども、若者、そして大人がいます。この様な社会の中で、私たちはどのように生きていかなければいけないのでしょうか。

8. 課題

・ デイベートテーマ(案)

「何が生き生きと生きるために必要か、それはお金だ、いや愛情だ」

「何が生きる喜びか、それはお金から得られる、いや愛情から得られる」

「生きるために一番大切なもの、それはお金だ、いや愛情だ」

・ デイベート参加者決定

・ 分断討議グループ分けの方針

・ グループ発表の方法(全体会の進め方)

・ 役割分担 その他

水の流れるまはりに14

小野 勅紘メン

(俳句)

・友と行く 讃岐の旅路 鉢の葱

・香り来る 金木犀の 振りをして

・秋の日の ^{つるべ}釣瓶落としに 山からす

(和歌)

・葛城の ^{のど}光長閑かし 中にして

^{あけ} ^{かた}曙の方にぞ 鷹を見送くる

人間関係を肯定的に理解する感情の表れ

〔顕在感情〕

〔潜在感情〕

1. 「悲しみ」 大切なものを失った時の気持ち
2. 「恥ずかしい」 私の存在を慈しむ気持ち
3. 「寂しい」 人を求める気持ち

4. 「しんどい」 私の無理を知らせる気持ち
5. 「楽しい」 私を温かく楽にする気持ち
6. 「怖い」 自分を安全に守る気持ち
7. 「好き」 人や物事に関わっていく気持ち
8. 「嫌い」 人や物事と適切な距離を取る気持ち
9. 「緊張」 力を充分出せるよう応援する気持ち
10. 「不安」 期待の大きさと釣り合う気持ち

出典：八巻香織著「こじれる人間関係のおけいこ」
ピクチャーブックスより

近江岸建助さんを偲ぶ会に出席して

足立 康幸メン

日時 11月8日(土) 15時より

場所 YMC A余島野外活動センター(海のホール)

西宮ワイズのメンバーであり、キャンプリーダーのスペシャリストとして神戸YMC A余島キャンプ長、所長として余島で27年間勤続された近江岸建助さんが5月29日60歳という若さで旅だたれ、余島キャンプOB、OGが中心となり出席者約90名という大勢の人達が建助さんを偲んで集まりました。

記念礼拝では川上盾牧師(東神戸教会)が「薪のような人になろう」薪のように自分自身の身を削りながら自分を灰にしながらかつて周囲を明るく暖かくし光と温もりを届けてゆく「自分を愛するように隣人を愛する」というイエスの教えをキャンプファイヤーの薪に建助さんを例えてお話されました。

その後、少年キャンプ場の小豆島と海が見渡せる丘の上に建助さんの遺骨を埋葬しました。夕食はメインホールで建助さんの思い出を語り合い、建助さんが残した灯を受け継ごうと話しました。夕食後のカウシルファイヤーでは山口政紀メンがお話され、彼が魅力のある指導者であったこと、多くの人々に心の火種を灯され、彼の想いを受け継いでいくこと、皆の心の中に建助さんは生きていること等を語られました。

改めて建助さんの存在の偉大さ働きの大きさを感しました。ありがとう、ゆっくりお休みください。

西宮YMCA保育園だより

三島 浩 司メン(保育園園長)

(西宮YMCA保育園だより11月号より)

先日家族で六甲山牧場に行った時、迷子になって泣いている4歳位の男の子を見かけました。声を掛けてあげようかと思いましたが、直ぐに母親が来て抱っこされたのを見てほっとしました。

10年程前のある日、3歳になった息子を連れて教会の礼拝に行きました。礼拝中、息子は他の子どもたちと教会の庭で遊んでいましたが突然姿が見えなくなりました。教会の直ぐ近くに祖父母の家があったので、もしかするとそこへ一人で行ったのではと思い、連絡しましたがだめでした。この時、私の頭の中は真っ白になりました。あの須磨の事件の少し後だったので、いろいろなことが頭の中を巡りました。必死になって近くを探しまわっていると、幸い、祖父母宅とは反対方向にある交番で保護されていることがわかりました。交番へ迎えに行った私の顔を見た途端、息子は大声で泣きました。私も涙が出そうなくらいほっとしました。

六甲山で母親に抱っこされた男の子を見た時には、「涙が出そうなくらい」の感情はありませんでした。この感情の違いは、「わが子」の重さなのでしょうね。

学生時代にリーダーとして活動したYMC Aのロビーに、「わが子への愛を世界のどの子にも」という言葉が掲げられていました。これは、YMC Aの国際協力募金のテーマでもあります。世界には今も紛争や災害、貧困など様々な理由で親(大人)の保護すらなく、命の危険にさらされている子ども達がたくさんいます。

特に期間を限定しているわけではないのですが、11月からYMC A全体で国際協力募金に力を入れての取り組みが始まります。「わが子」の重さを感じながら、世界中の子どもたちにも大きな愛を注いでいただければと思います。

リーダー会だより

いちかわ

西宮宝塚YMCAリーダー会 市川 さのさん

いつもご支援ありがとうございます。10月、11月はカーニバル・チャリティーランという2つの大イベントがありました。

カーニバルでは、リーダー会はステージ・飲食・ゲームの各部門に分かれ、約1ヶ月前からより楽しいカーニバルになるように準備をしてきました。当日

もリーダー一人一人が盛り上げようという自覚を持ち、笑顔あふれるカーニバルとなりました。

チャリティーランでは、一つでも多くの支援金につながるようにうどんを作り出し、完売することができました。また、リーダーやアプレンティスの子ども達も協力し、励ましあって走りました。

どちらの行事でも、ワイズの方々やサポートの子ども達、一般の方々など多くの人達とふれあい、さらなる向上心へと繋がるよい場であったと思います。これからの行事や例会、その他の活動でもリーダー一人一人が自信を持ち、力を合わせて盛り上げて活動していきたいと思えます。

これからもよろしくお願いします。



西宮YMCA 三島浩司メン

いよいよ12月、1年の締め括りの月であると同時に、イエス・キリストに従う私たちにとってとても大きな意味を持つ月でもあります。クリスマスは、キリスト(救い主)とマス(礼拝)の2つの言葉からできた言葉で「キリストを礼拝する」という意味になります。教会では、キリストの誕生を神様からの贈り物として、感謝して受け取り、感謝の思いを神様に捧げるための礼拝を捧げる大切な時となります。

また、日本の一般社会では、12月25日を過ぎるとクリスマスから一気に大晦日、お正月へと全てが動いていきますが、教会では1月6日公現日(キリストが全ての民に掲示されたことをお祝いする日)までをクリスマスの期間としています。

今年のクリスマスも多くの方々と共にイエス様のお誕生をお祝いできればと思っています。

1. 東アジア3カ国交流少年少女サッカー大会報告

詳しいご報告が遅くなりましたが、六甲部の皆様にもお支えいただいた東アジア3カ国交流少年少女サッカー大会の報告書が出来上がりましたので、改めてご報告させていただきます。今夏、8月22日から26日、中国：天津(小学生14名、大人6名)・香港(小学生12名、中学生4名、大人3名)、韓国：釜山(小学生16名、大人3名)、日本：神戸(小学生77名、大人10名)の参加者が集まり、サッカーを通して交流の時が持たれました。言葉も文化も違う

子ども達。最初ははにかみながらの関わり合いだったものが、日を追うごとに打ち解けあい、「ニーハオ」「アニョハセオ」「コンニチハ」等の声飛び交うようになっていきました。「出会えてよかった。」ある日本の子どものメッセージです。この子ども達が平和な未来を作ってくれることを信じつつ、六甲部の皆様のお支えに改めて感謝申し上げます。来年は「香港」での開催が予定されておりますのでまたよろしくお願いいたします。

2. 第11回チャリティーラン開催

11月3日、第11回目を迎えたチャリティーランが、神戸しあわせの村で開催されました。ランナー約940名、ボランティア・職員約330名、ギャラリイも加えると総勢2000名近い方々が参加してくださいました。西宮クラブの皆様もランナーとして、また、参加者の方々のためのカレー店運営等でサポートいただきました。このチャリティーランの収益は、障がいのある子ども達が、一人でも多くYMCAのキャンプに参加していただけるよう有効に活用させていただきます。ご支援・ご協力ありがとうございました。

(長井メン報告・上掲)

3. 近江岸建助さんを偲ぶ会開催

11月8日~9日、神戸YMCA主事であり、西宮クラブメンでもあられ、5月29日に天に召された近江岸建助さんを偲ぶ会が、余島リーダーOBOGの方々を中心に余島で開催されました。当日は、90名余りの方々が参加され、東神戸教会の川上 盾牧師の司式により追悼礼拝が持たれました。その後、余島の海を望むところに遺骨の一部が埋葬され、多くの方々が近江岸さんを偲ばれました。神戸YMCAでは、来年5月31日に近江岸さんを偲ぶ会を開催する予定です。

(足立メン報告・上掲)

4. 世界YMCA/YWCA 合同祈禱週

11月9日から15日、世界YMCA/YWCA 合同祈禱週とされ、今年は「自由と平等に生まれて」というテーマで「人権」について学び、祈る一週間を過ごしました。西宮YMCAや西宮YMCA保育園でもリーダーや先生達が子ども達と共に祈りの時を持ち、世界中の人々と祈りをあわせました。

5. 第18回チャリティーワインを楽しむ会開催

11月14日、クラウンプラザ神戸のチーフソムリエ：海老直人さん(神戸 YMCA 学院専門学校卒業)をお招きして、チャリティーワインの会が開催されました。40名の方々が国産ワインと食事、またオークションを楽しまれました。この収益は、子ども奨学金に捧げられます。

6. 今井鎮雄顧問のご長寿を祝う会開催

11月15日に、11月18日に88歳のお誕生日を迎えられた今井鎮雄顧問の長寿を祝う会が、ホテルオークラ神戸にて開催されました。当日は、井戸敏三兵庫県知事をはじめ、シアトルYMCA副総主事のトム・ホースレー氏や行政関係者、YMCA・ロータリークラブの関係者、各福祉団体や学校関係など総勢350名余りのゲストを迎えました。今井顧問のこれまでのご功績に敬意を表し、ご長命を寿ぎたいと思います。

7. YMCA セミナー開催

11月22日、カトリックたかとり教会で開催されました。今回は「共に生きる～カトリックたかとり教会の震災後の歩みから」と題して、カトリック司祭である神田 裕神父から、「まちづくりはグチ(友達)づくり」を合言葉として、様々な地域の方が出会う場としての教会をめざしてこられた体験を伺うことができました。当日は、YMCA会員、職員、また一般参加者を含め、約60名の方々が参加され、楽しく意義深いセミナーとなりました。

8. 公益法人制度改革への対応

公益法人制度改革に伴って、財団法人神戸YMCAも姿を変えようとしています。この12月1日から改革のための法律が正式に施行されますが、神戸YMCAも改革をめぐる情勢の変化を見極めつつ、「公益財団法人」へと姿を変える準備を進めています。今後も変わらぬご支援、ご協力をよろしく願いいたします。

今後の予定

1) 宝塚チャリティー市民クリスマス「キャロルの夕べ」

宝塚クラブの皆さんを中心に、地域の諸協会のご協力により開催されます。ぜひお越しください。

日 程：12月12日 18:30開場

場 所：宝塚ベガホール

入場料：無料

2) 西宮・宝塚YMCA少年少女クリスマス

西宮・宝塚YMCAのボランティアリーダー達の手による、子ども達のためのクリスマス会です。リーダー

による生誕劇や歌、ゲームなど。ぜひお越しください。

日 時：12月13日 13:00～14:30

場 所：西宮市大学交流センター

(阪急西宮北口駅 ACTA西宮東館6F)

参加費：無料

3) 神戸YMCA役員合同クリスマス

日 時：12月15日 18:30～21:00

場 所：神戸YMCAチャペル(礼拝)

グリーンヒルホテル(祝会)

参加費：3,000円

4) 第50回神戸市民クリスマス

日 時：12月19日 19:30～20:30

場 所：カトリック神戸中央教会

(神戸市中央区中山手通)

5) 新年職員礼拝

「Staff of The Year2008」の表彰も行いますので、ご一緒くだされば幸いです。

日 時：1月5日 9:00～10:00

場 所：神戸YMCAチャペル

6) 新春わいわいフォーラム

ワイズメンズクラブと共催で、新春の懇談の時を持ちます。

日 時：1月17日 13:00～18:00

場 所：神戸YMCAチャペル

テーマ：「生きる力」ってどんな力？

～「楽しくなければ生きていけない!!」、

でも「生きる厳しさもあるよねー!!」～

余島からあなたへ

余島野外活動センター 中島 晋(新人)

我らの先輩

5月末に天に召された近江岸建助さんを偲ぶ会が、去る11月8、9日に余島で催されました。全国から100名近い方が来島され、東神戸教会、川上盾牧師の司会のもと、牧師が建助さんを想い作詞作曲された「薪のような人になろう」を皆で歌い会は執り行われました。

夜の懇親会では、皆さんが建助さんとの思い出を語り合い、そして建助さんが愛されたキャンプソングを幅広い世代が高らかに歌い上げ、「きっとどこかで建助さんが聞いているのだろうな」という、そんな声も耳にすることができました。

私は今年が神戸YMCAでの1年目であり、過

去キャンパーでも無ければ、リーダーでも無かったため建助さんを全く知らない身でした。ただ4月より先輩職員や余島を訪れる多くの方から「近江岸建助」という名前はとてもよく聞いていて早く会ってみたいなど思っていました。

しかしその願いは叶わぬものとなってしまいました。5月29日の夜に訃報を聞き、余島に関わる多くの方々に電話をかけました。電話から帰ってくる声は「あの元気だった建助さんが・・・!?」という驚きが一番多かったです。後日あった葬儀にも会場に溢れる程の人が参列されたということで、本当に多くの方から愛された方だと感じることができました。

私をはじめ、来年度から神戸YMCAで奉職する職員は建助さんを知らずにいることとなります。そんな私たちに皆さんから建助 Sprints を教えて頂ければうれしい限りです。

音を重ねる日々心を重ねる日々に46



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム
LOVE 代表ひがしの ようこさん 音を重
ねる日々は心を重ねる日々に しば
らくお休みさせて戴きます。
濱 浩一 メン

ドキュメンタリー映画 「あぶあぶあの奇跡」完成
上映会を12月5日と6日に(東灘区センターうはらホー
ル)予定しています。

前売り 1000円 当日券 1300円中高生 500円(当
日販売のみ)尚、前売り券は10枚 800円/枚になります。

12月5日(金)

第1回 13:45開場 14:30 開演

第2回 17:30開場 18:00 開演

12月6日(土)

17:0 開場 18:00 開演

12月7日(日)には大阪(クレオ大阪中央)でも
予定されています。

第1回 10:15開場 10:45 開演

第2回 13:20開場 13:50 開演

皆様のご協力をどうぞお願い致します是非、多くの
の方々のご参加をお待ちしています。

トピックス・とびくす

廣瀬 一雄メン

小生は現在動物行政の仕事に携わっておりますが、普段皆さんが余り耳にされない動物に関する法律について紹介しましょう。

「動物の愛護及び管理に関する法律」は人と動物のよりよい関係をめざして制定されたもので、昭和48年には「動物の保護及び管理に関する法律」として、平成11年には今の名称に変更され、動物取扱業の規制、飼い主責任の徹底、虐待や遺棄にかかわる罰則の適用動物の拡大、罰則の強化など大幅に改正。さらに平成17年に動物取扱業の規制強化、実験動物への配慮、特定動物の飼養規制の一律化、罰則の強化などの改正で全50条でなっています。

編集後記 プリテン委員長 廣瀬 一雄

11月も恒例(高齢?)のチャリティランから始まり、大阪クラブ80周年記念例会に出席したり、六甲部長のクラブ訪問や熊本での区役員会でのカバン持ち?(元気一杯自力走行されてましたが・・・)とスケジュールが一杯でした。役員会終了後もオーバーステイし佐藤さん、吉本さんにはお世話をお掛けいたしました。

Yの行事では神戸YMCAの常議員会や、ミッション委員会主催のセミナーが“カトリックたかとり教会”の神田 裕神父の体験話と神戸クラブの大塚メン(委員長)のまとまりのあるご挨拶と宝塚クラブの若林メン(委員)の楽しい歌のご指導の中、有意義な催しでした。

また、わいわいフォーラムの打ち合わせ会が度々催されたり、濱会長が特に力をいれている“あぶあぶあの奇跡”の試写会もありました。

29日の土曜日に山本メネットのお声かけで、神戸を離れられる伊地知メネットとの昼食会が芦屋の“ゆるり”にて宮地特別メネット、岡田・足立・廣瀬の各メネットと山本・小野・廣瀬の各メンの皆さんで、しばしのお別れ会が催されました。来年には伊地知メンのメモリアルの集まりをしましょうと、メネットの皆さんからの呼びかけを戴いています。その節は皆さんで是非盛大に思い出を語り合しましょう。